

## 資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 組織活動 | 基本的人権は民主主義の基本

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

▶ キーワード検索はこちら

### 基本的人権は民主主義の基本

#### 基本的人権は民主主義の基本 2

（日本国憲法と労働組合）

1. 日本社会の「国家理念」→ 人間尊重（個人の尊重）の精神を体现する「日本国憲法」  
日本は法治国家です。「法の下に人間は皆平等」という基本理念を基に社会システムが構築され  
法の下に個人は自由に能力を発揮し生涯をおくる事ができます。

#### 日本国憲法が規定する「基本的人権」

平等権 → 法の下での平等、国民は全て等しく権利を有する。  
 自由権 → 精神の自由、身体の自由、経済の自由からなる。  
 社会権 → 人間らしく生きるための権利。（生存権、労働基本権、教育を受ける権利など）  
 新しい人権 → 環境権、幸福追求権、プライバシー権、知る権利、自己決定権など。

基本的人権を守る為の権利 → 参政権、請願権、請求権

その為の

義務 → 社会（国家）の構成員として、国民が果たすべき務め。

1. 基本的義務 → 教育を受けさせる義務、**勤労の義務**、納税の義務。
2. 一般的義務 → 人権保持義務、濫用の禁止、公務員の憲法尊重義務。

※「自由権」は自由奔放を意味しない。→ 「公共の福祉」により制限を受ける。

<「公共の福祉」は、資本主義の発達による財産の不平等を是正するための概念。>

#### 基本的人権の性質

基本的人権は、①固有性、②不可侵性、③普遍性、を持っています。  
このような性質を「自然権的権利」と言い、「人間が生まれながらにして持つ権利で、国家権力であっても侵すことができない」として保障されています。

#### 人権の基本・土台となるのが「個人の尊重」

個人の尊重とは、①全体主義を否定します（全体主義とは個人よりも全体の優位を主張するもの）。  
②個人の自由を尊重する。③支えが必要な弱者にあっても人間として尊重される。この三つが原理です。したがって、人間尊重は個々の人間を自立的な人格として平等に尊重しようとする点で、エゴイズムや全体主義を否定します。民主主義が成り立つ基礎

2. 共産主義（左翼的運動）は全体主義。  
「階級」を基礎とするもので、資本主義社会の労働者階級（集団）が基礎となり、「階級意識・階級闘争」が優先する左の全体主義。  
理論的には「マルクス」が資本論で説いた。

実態は、共産党・共産主義（イズム）が基礎となる。

#### 公共の福祉とは

自由の追求は強者のみの自由にしかならない。  
フランス人権宣言「人権とは、他人を害しない、すべてをなし得る権利である」と言っています。人権を制約できる根拠は「人を害してはいけない」という、その1点だけ。「人権と人権が衝突するときに調整する」これが公共の福祉です。

憲法第 27 条（勤労の義務）  
憲法第 28 条（労働三権）

労働三法

労働基準法  
<労働条件の最低基準>

労働組合法  
<団結権・団体交渉権・団体行動権>

労働関係調整法  
労使関係のトラブル調整

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[📍 サイトマップ](#) [📍 このサイトについて](#) [📍 個人情報保護の取組みについて](#)

[📍 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.